

目 次

序	1
目次・例言	2
加納家史料調査の経過	3
加納家歴代	4
加納久朗関係文書解題	加藤陽子 5
加納久朗の千葉県への登場―参院補欠選挙と知事選挙をめぐって	中村政弘 13
加納家文書の書簡	
―1939（昭和14）年の吉田茂書簡（加納久朗宛）を中心として―	加藤時男 19
加納家史料目録	27
あとがき	

例 言

- ・本書は平成11年に一宮町へ寄贈された「加納家文書」の目録として編集したものである。
- ・目録の形式は史料番号、表題、年代、作成、受取、形態、数量、備考について記載した。
- ・年代については、史料に記述されている通りに掲載したが、一部外国語の月名を数字に直してある。表題中にある「外国語」は「英語」以外の各国語であることを表示している。
- ・雑誌等の切抜きの中で、加納久朗本人が執筆したと思われる記事については、備考欄にその旨を明記した。
- ・史料目録の備考欄に*印のあるものは、目録末尾に内容を別記してある。
- ・史料目録の作成、執筆、写真撮影は下記の4名が担当した。
 - 加藤陽子（東京大学大学院人文社会系研究科日本史学助教授）
 - 加藤時男（県文書館古文書調査員）
 - 中村政弘（県史料研究財団近現代史部会史料研究員）
 - 川村敬一（カメラマン）
- ・本書の作成にあたり次の方々、機関等にご協力いただいた（敬称略）。
 - 東京大学野島（加藤）研究室、（財）千葉県史料研究財団近現代史部会、吉田暁子
- ・本書の編集は、執筆者を中心に一宮町教育委員会（宇野幸）が行なった。